

1. 次の英文を和訳せよ。

Possibly the most thought provoking findings are the far-reaching changes in the relative economic situation in France, Japan, the United States and the United Kingdom over the long period. (中略)

At present, total factor productivity is very close in the four countries except Japan, where it is still significantly lower. However, hourly labor productivity is slightly higher in France than in the United States, significantly lower in the United Kingdom, and even lower in Japan. Furthermore, productivity per employee is slightly lower in France than in the United States, much lower in the United Kingdom and even lower in Japan. These differences reflect the more or less contrasting developments during the various periods of the analysis, associated with varying contributions of capital deepening and the downward trend in working hours.

※注：total factor productivity: 全要素生産性

(Cette, G., Y. Kocoglu, and J. Mairesse, 2009, “Productivity Growth and Levels in France, Japan, the United Kingdom and the United States in the Twentieth Century,” *NBER Working Paper* No. 15577 p.18.)

2. 2つの消費財（私的財）AとBがあり、それを消費することにより効用を得る消費者がいたとする。財Aの消費量を $x_A$ 、財Bの消費量を $x_B$ として、この消費者の効用関数が

$$U(x_A, x_B) = \sqrt{x_A x_B}$$

と表されるとする。この消費者は800の所得を持っている。いま、財Aの価格が2で、財Bの価格が4であるとする。ただし、この消費者は持っている所得以上には消費できないとする。

この家計が効用最大化行動をとるとき、下記の(1)～(7)について答えよ。

※注意：答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと（きれいに書いていなくてもよい）。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。解答は、整数でなくてよいが、分数の場合はできるだけ既約分数で答えること。

- (1) 財Aの消費量を300、財Bの消費量を50としたとき、どちらの財の限界効用が高いか答えよ。
- (2) このとき、この消費者にとって各財の最適な消費量はそれぞれ何単位か答えよ。
- (3) (2)のとき、各財の限界効用はいくらか答えよ。
- (4) この消費者の所得が1200に増えたとき、各財の最適な消費量はそれぞれ何単位か答えよ。
- (5) (4)のとき、各財の限界効用はいくらか答えよ。
- (6) この消費者の所得が400に増えたとき、各財の最適な消費量はそれぞれ何単位か答えよ。
- (7) 所得が800のときに比べて、所得が400増えた(4)のときと、400減った(6)のときで、各財の限界効用はどうなっているか答えよ。

3. 次のマクロ経済学に関する①～④の記述について、正しい場合は○、間違っている場合には×をつけて答えよ。また、誤っている×の記述について、その理由を簡単に答えよ。

- ① IS-LMモデルにおいて、政府支出を増やすと、投資が減少して所得が増加し、雇用も増加する。
- ② 投資の利子弾力性がゼロの場合、財政政策によるクラウディング・アウト効果は全く生じない。
- ③ 公債が増えるとき家計資産の一部を貨幣に換える方が有利になることから貨幣需要が増えるという公債の資産効果があるとき、LM曲線は公債増発に伴って左上方にシフトする。
- ④ 限界消費性向が上昇すると、IS曲線の傾きが緩やかになり、政府支出乗数は大きくなる。

4. <この問題は、時間に余裕がある場合に限り解答してもよい；解答しないからといって減点にはしない>

次のマクロ経済学やミクロ経済学に関する(1)～(4)の問いについて答えよ。

- (1) 45度線モデルでの政府支出乗数の値と比べて、IS-LMモデルでの政府支出乗数の値は、大きいか小さいか、その理由も付して答えよ。
- (2) ギッフェン財では、所得効果と代替効果の大きさの関係はどうなっているか、説明せよ。
- (3) 貨幣需要の要因（動機）にはどのようなものがあるか説明せよ。
- (4) 右下がりの需要曲線（AB）上にある点Eにおける需要の価格弾力性の大きさは、図上ではどのように表わされるか答えよ。また、点Fと点Gにおける需要の弾力性は、点Eにおける需要の価格弾力性と比べて大きいか小さいか、その理由も付して答えよ。

